

日本テレビ通り沿道まちづくり協議会の経緯

～番町の住環境・教育環境を守るために～
第12回勉強会資料

Nov. 25th, 2019

2018年(平成30年)5月24日

第3回「日テレ通り沿道まちづくり協議会」配付資料

望ましい麴町駅前拠点整備のイメージ

平成30年5月24日
日本テレビ放送網株式会社
麴町再開発事務局

街に開かれた大規模な広場やバリアフリー化など、地域課題を解決する地域貢献施設を誘導するために、Aゾーンへ配慮しながら建物を高層化する。

新たな高さ制限
最大150mまで

- ①日テレ通りに面して緑豊かな歩行空間を確保し、快適で歩きやすい通りとする。
- ②歩行者空間に沿ってカフェ等を誘導し、日テレ通りを中心に賑わいを創出する。

にぎわい

生活利便施設の誘導

- ⑤生活利便施設等を誘導し、地域の生活拠点とする



- ⑥駅前拠点として、地下鉄駅前の滞留空間と地上をつなぐ空間などを整備し、駅のバリアフリー化を実現する。



麴町駅のバリアフリー

新たな高さ制限
最大150mまで

- ③地域が交流できる広場に地下鉄出入口を設置し、地下鉄と地上を連結させる。また、雨に濡れない歩行者ネットワークを形成する



盆踊りの出来る広場

- ④盆踊りなどの地域イベントが安全に開催できる規模の地域交流広場を設置



- ⑨Aゾーンに交通負荷をかけない車両動線を整備する

- ⑦風ぐるまなどが寄り付ける交通広場を設け、駅前の利便性を高める



交通広場

- ⑧住宅地との間に大規模な緑地帯などのバッファゾーンを設けて、Aゾーンとの調和を図るとともに、住宅地としての付加価値を高める空間を整備する



緑のバッファゾーン

2018年(平成30年)5月24日

第3回「日テレ通り沿道まちづくり協議会」配付資料

4. 方針の実現に向けて

3 各ゾーンに期待される役割

地域の連携・協働による地域主体のまちづくりは、本構想及び当地域のまちづくりの大きな柱である。

地域課題の解決、共有した将来像実現のため、地区計画の適切な運用、必要に応じた見直しを図るとともに、拠点における開発においては、積極的な地域貢献を期待している。

D

高度な都市機能の集積と
みどり豊かな多様な生活をささえる街づくり

- 市ヶ谷駅を中心とした賑わい圏づくり
- 安全・安心なまちづくり
- 交通利便性の向上
- みどり豊かな環境づくり

駅前地権者による共同化
【期待される地域貢献】

- JR・地下鉄とまちを円滑につなぐ安心・安全な歩行者ネットワークづくり
- 駅前環境の整備
- 複合的な交通の集約
- JR・地下鉄へのスムーズで安心・安全な接続

A

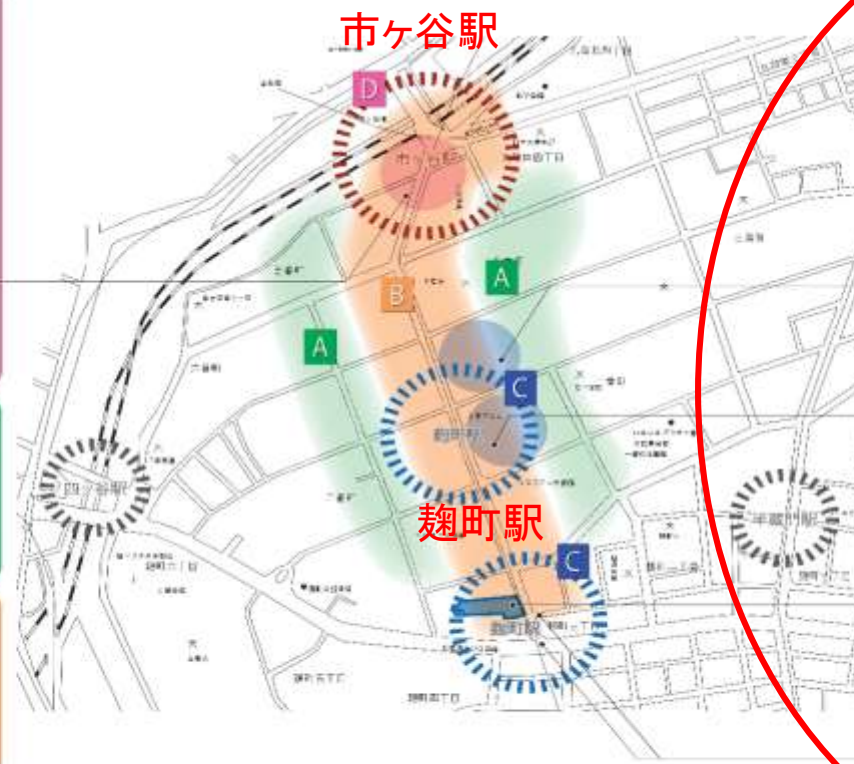
良好な住環境の維持・創出

- 江戸時代から続く道町の歴史・品格の継承
- 受け継ぐ地域文化・コミュニティの再形成
- 安全で閑静な住環境の維持

B

環境と調和・共存する商業・業務機能の強化
はとりの賑わいのあるオープンスペースの創出

- 住宅地と共生調和し、生活利便性の高い賑わいの南北軸
- 緑が多く、バリアフリー化された歩道で安心して歩ける通り
- 住民と企業が育てる家賃のある通り



C

文化発信機能の再編などにより、
駅前立地を活かした地域の顔づくりを担う

- 交通を促す広場等を備えた、駅前地域の顔となる拠点
- 駅の利便性と交通結節機能を強化した交通拠点
- 商業・サービス施設等の立地による地域利便性の向上
- 賑わいのある都市空間の形成

日本テレビ二番町・四番町所有地での検討
【地域貢献】

- イベントのできる広場
- 駅前運送広場
- 駅周辺のバリアフリー化
- 交通結節機能
- 住宅地との緩衝空間の確保
- 地域の価値を向上させる緑地の導入
- 南北歩行者ネットワークの形成

【実現化方策】

- 再開発等促進区を定める地区計画等
- 生活支援機能、地域にふさわしい文化交流施設の導入と活用を促進

都町駅都町駅前拠点
都町西丁目地区市街地再開発事業（完成）
【地域貢献】

- 市街地の更新
- 地下鉄出入口の整備
- 空気の整備

【実現化方策】

- 市街地再開発事業、高度利用促進

建築計画にあわせて地下鉄駅へのエレベーター設置

Cゾーン 麴町駅上

日本テレビ二番町・四番町所有地での検討

【地域貢献】

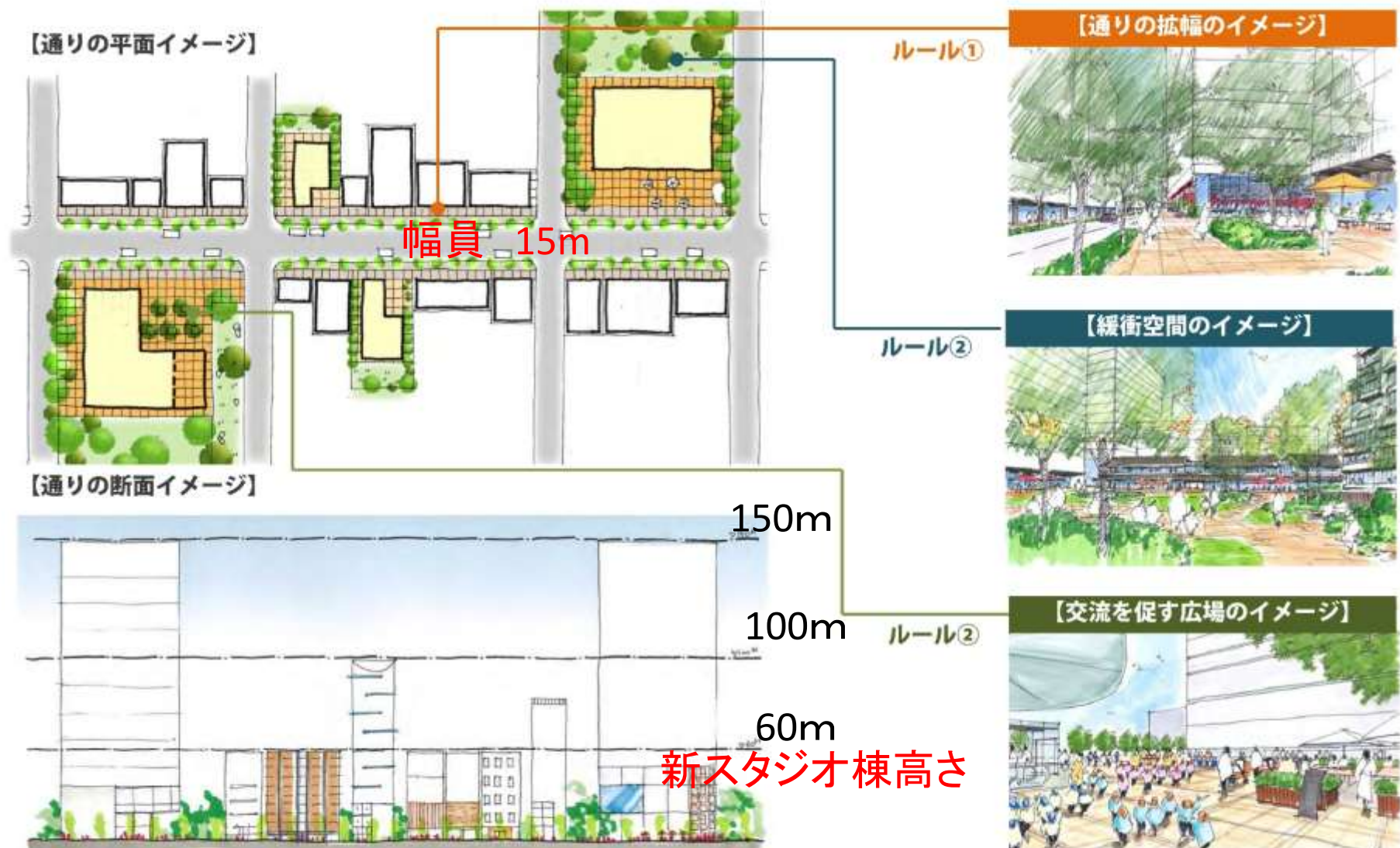
- ・イベントの出来る広場
- ・駅前滞留空間
- ・麴町駅のバリアフリー化
- ・交通結節機能
- ・住宅地との緩衝空間の確保
- ・地域の価値を向上させる施設の導入
- ・南北歩行者通路などの歩行者ネットワークの形成

【実現化方策】

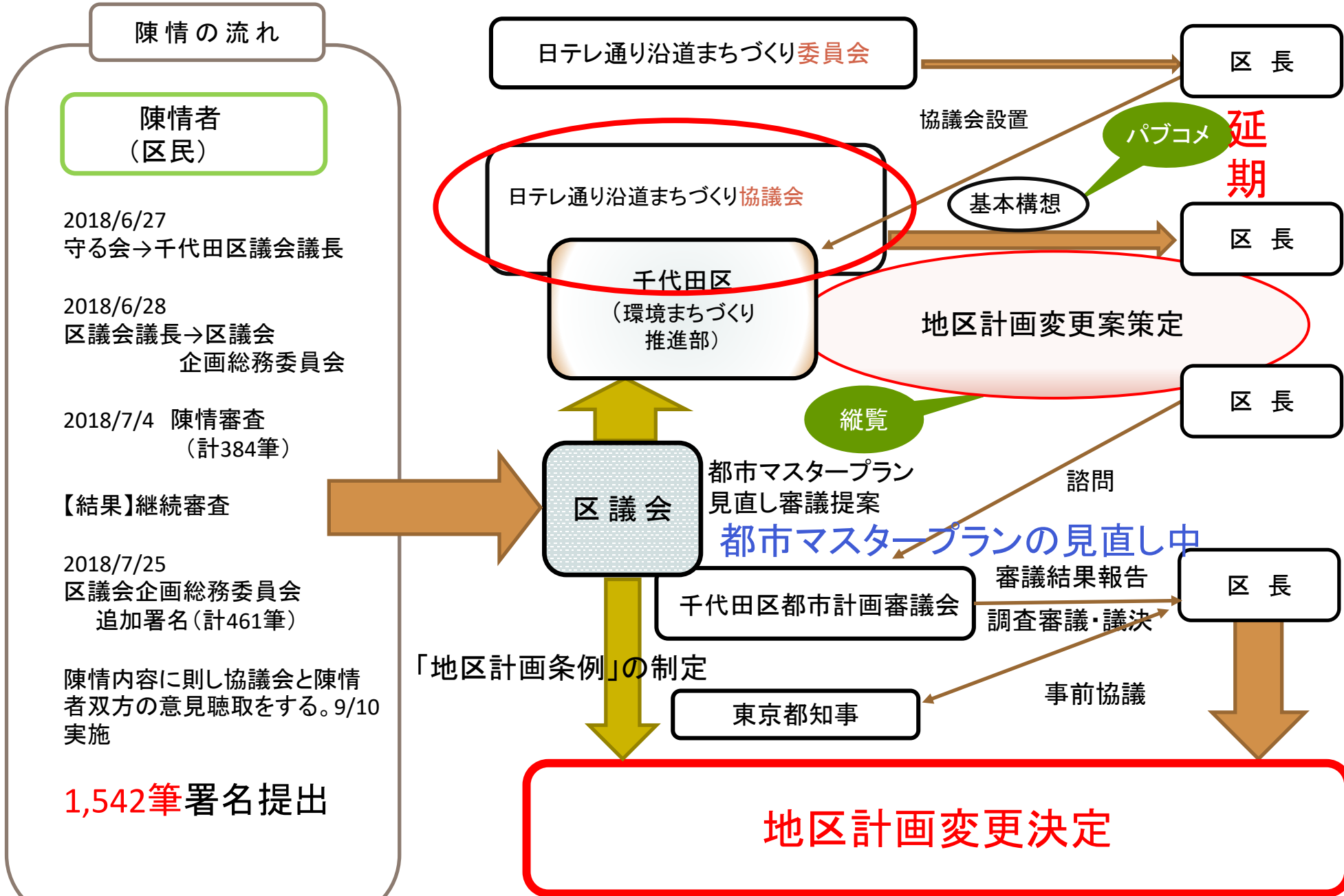
- ・再開発等促進区を定める地区計画等
- ・生活支援機能、地域のふさわしい文化交流施設の導入と
適切な高度利用

2018年平成30年1月 「日テレ通りまちづくり委員会」作成

2つのルールを適用した日テレ通りの将来像



超高層の建築が可能になるまでのプロセス



番町地域住民

番町地域の住民数

一番町・・・3,611人

二番町・・・1,691人

三番町・・・3,437人

四番町・・・2,637人

五番町・・・918人

六番町・・・1,605人

麴町三丁目・・・635人

麴町四丁目・・・609人

合計・・・15,143人

2018年6月現在人口総数

まちづくり委員会実施アンケート

配布数・・・4,713通

回答数・・・563通

回答率・・・約12%

配布先

二番町、四番町、五番町、六番町、麴町
三丁目、麴町四丁目(合計7,825人)

2016年9月実施

委員会構成員

二番町町会、四番町町会、五番町町会、
六番町町会、麴町三丁目町会、
麴町四丁目町会、日本テレビ通り振興会

協議会構成員

委員会構成員



九段四丁目町会 日テレ通りまちづくり委員会
市ヶ谷駅周辺まちづくり協議会
学校法人日本大学 麴町学園女子中学校高等学校
学校法人武蔵野大学付属千代田高等学院
公益財団法人日本棋院
日本テレビ放送網株式会社 東京急行電鉄株式会社
学識経験者(座長) 千代田区環境まちづくり部担当部長
事務局(千代田区環境まちづくり部まちづくり課)



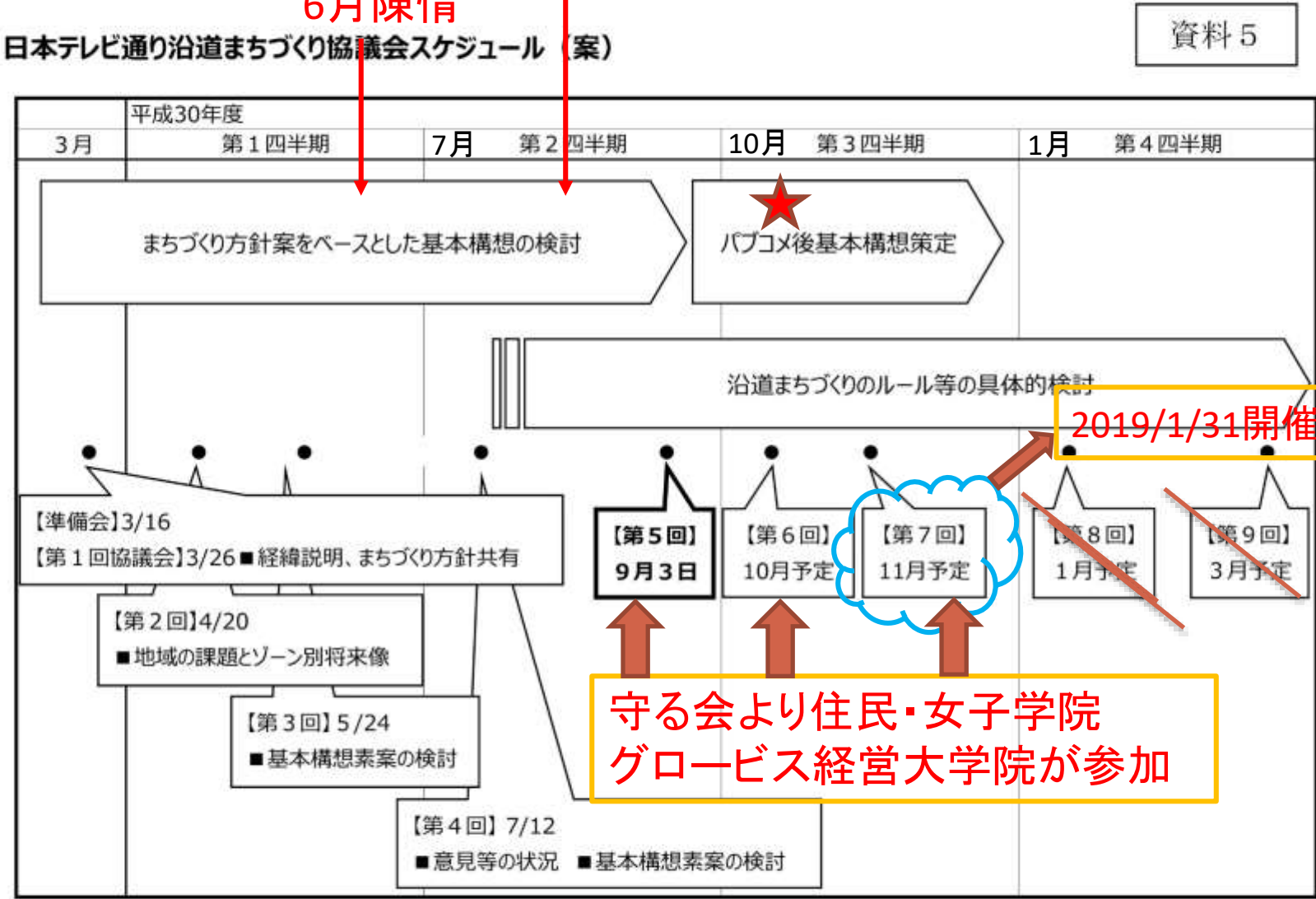
第5回より

守る会より住民、女子学院、グロービス経営大学院参加

2018年(平成30年)9月3日
第5回「日テレ通り沿道まちづくり協議会」配付資料

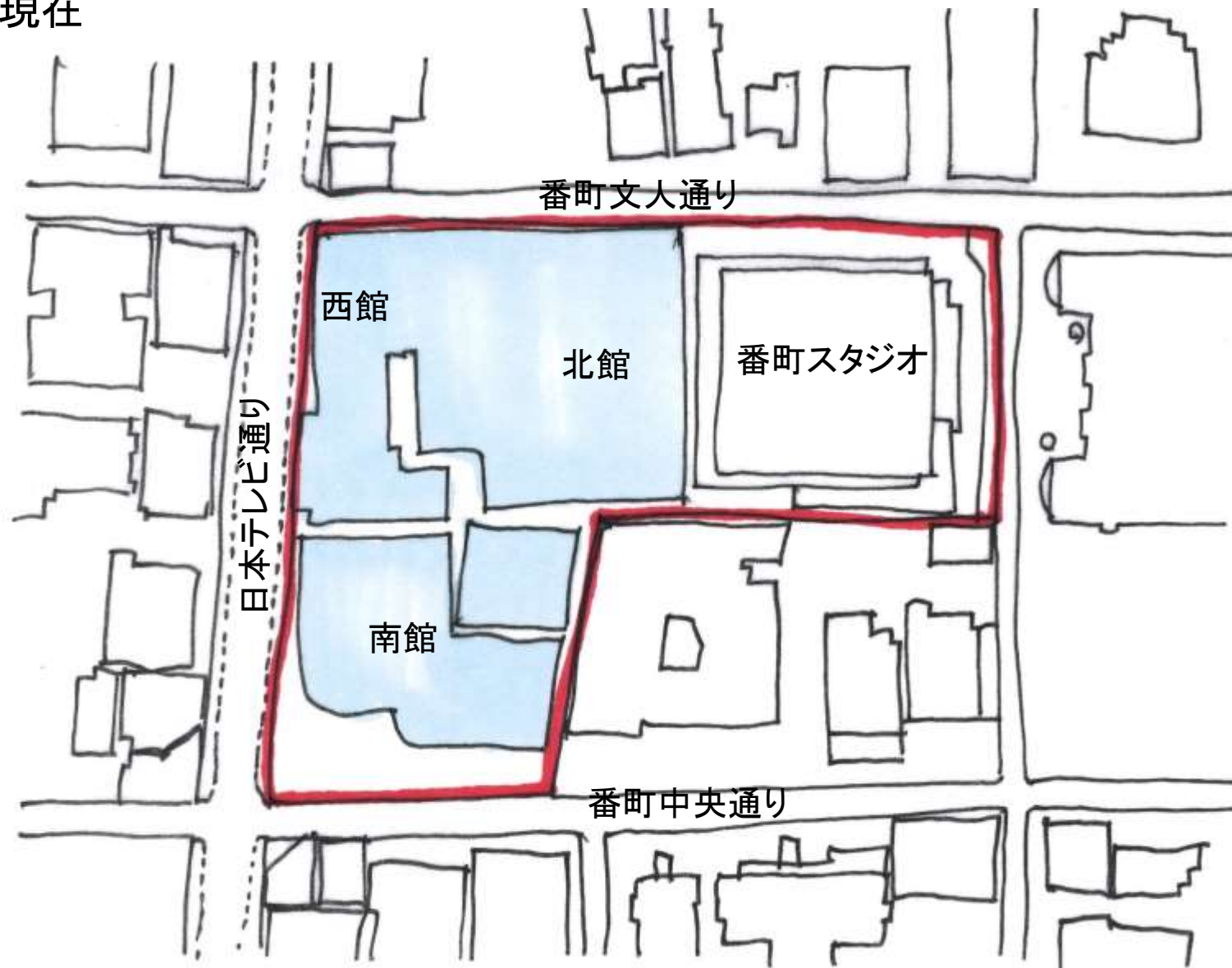
質問書提出・勉強会で住民に計画の周知

6月陳情



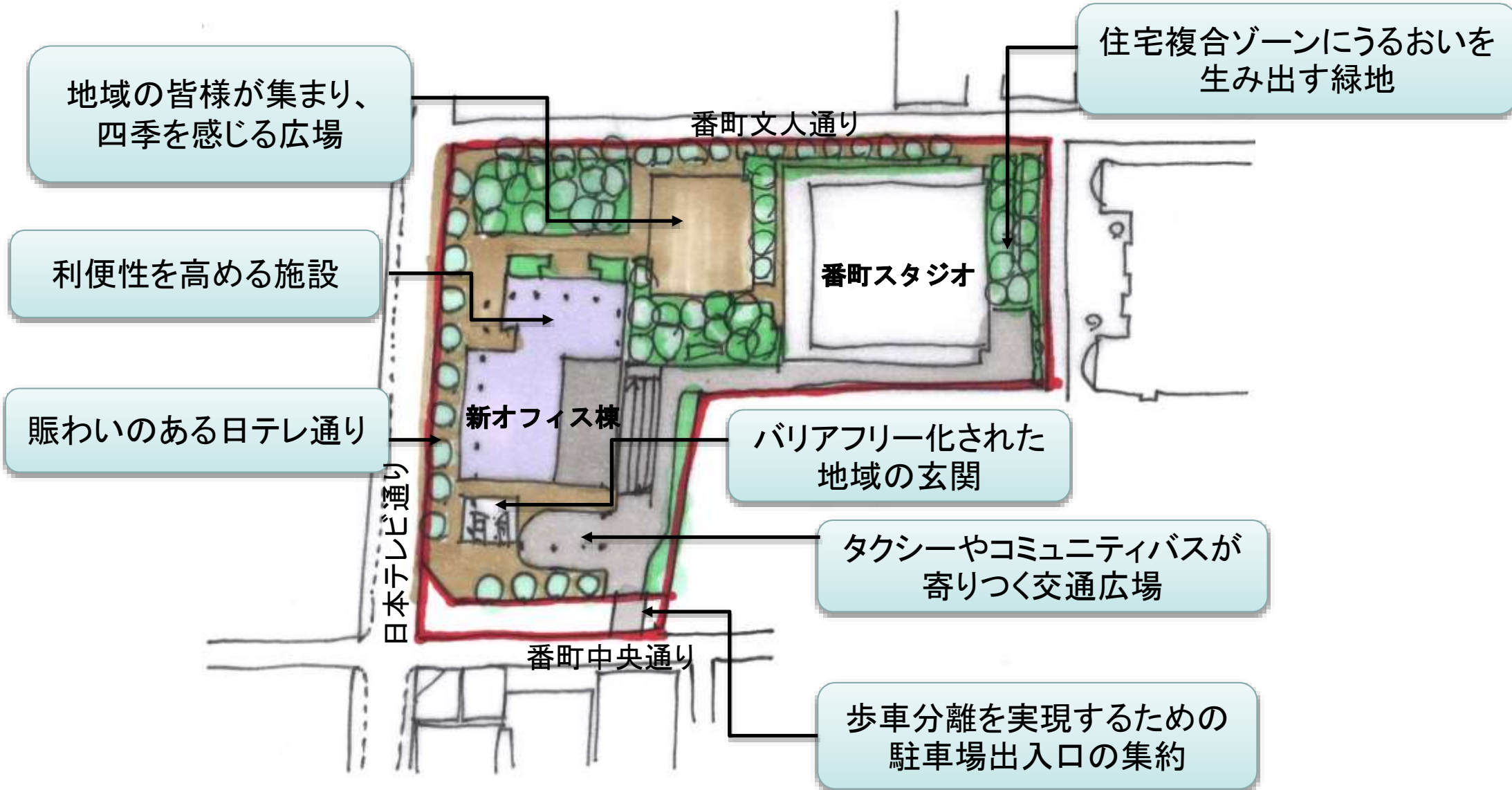
日本テレビが示した現状図 (第4回協議会配付資料・千代田区HPを元に作図)

平成30年7月現在



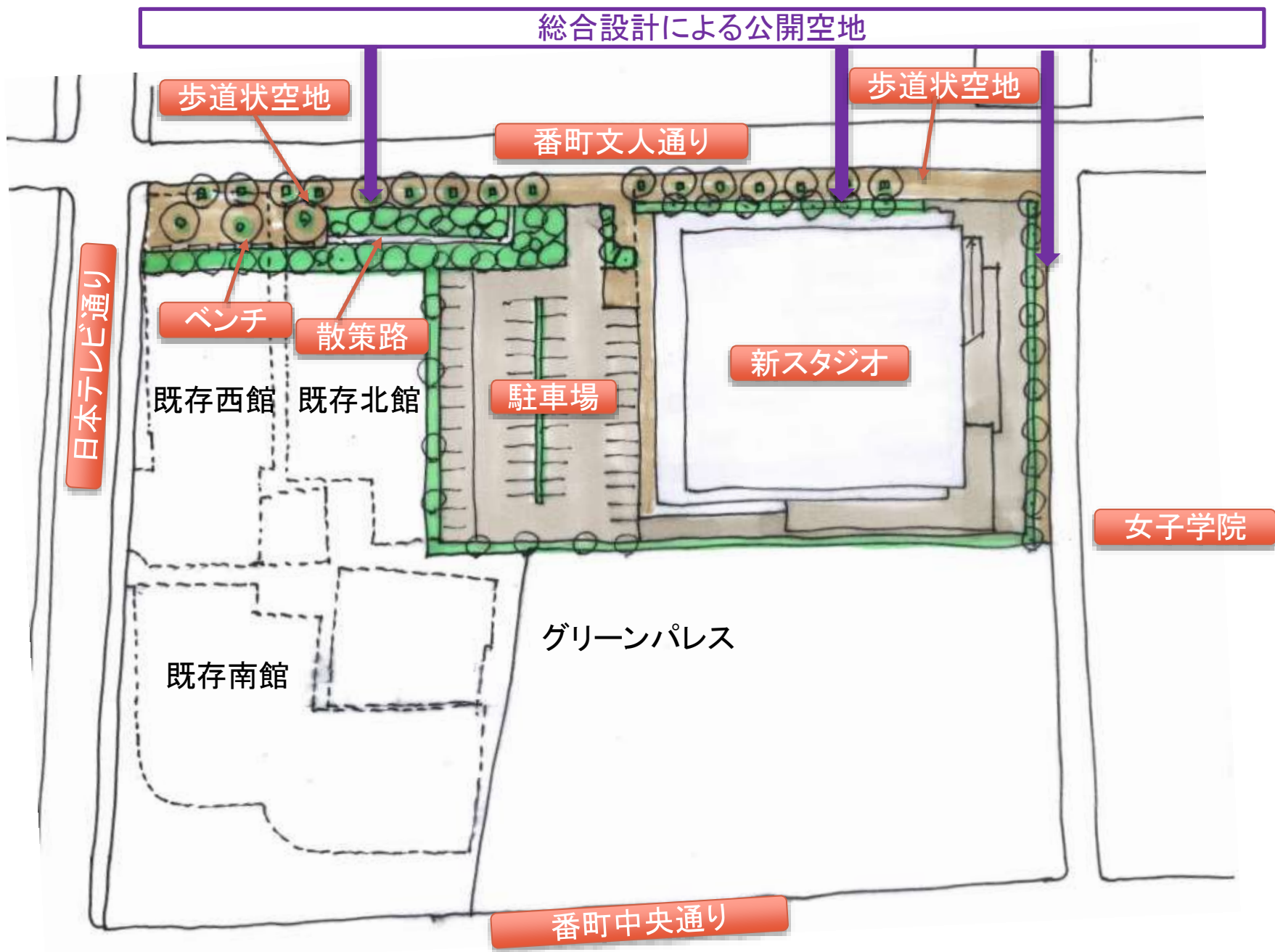
日本テレビが示した計画案 (第4回協議会配付資料・千代田区HPを元に作図)

地域と共に成長するまちづくり案 ～足元空間の創出による歩いて楽しいまち～



日本テレビ新スタジオ棟申請時配置図

(2015年5月説明会資料を元に作図)



2018年9月3日第5回協議会

日本テレビ通り沿道まちづくり基本構想(素案)

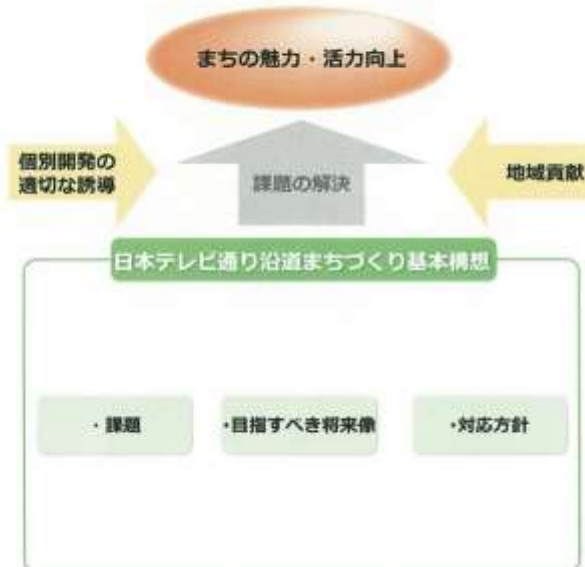
1. まちづくりの基本的考え方

1 地域主体によるまちづくり

これからのまちづくりは、地域の住民、就業者、就学者、事業者、大学、行政等のまちづくりに関係する多様な主体が地域の抱える課題や将来像を共有し、連携・協働により魅力的なまちづくりを段階的に進めていく必要がある。

また、地方分権化の流れの中で、地域の実情やニーズに適った個性的で多様なまちづくりを展開するため、行政だけでなく、地域の幅広い参画を得ることも求められているとともに、各事業についても計画段階からの情報共有によるまちづくりが求められる。

日本テレビ通り沿道の地域においても、地域内の個別開発や、駅及び駅周辺整備等の地域課題の解決に向けた積極的な地域貢献を適切に誘導するため、まちづくり基本構想により多様な主体で将来像を共有し、まちの魅力と活力の向上を図っていく。



2 構想の位置づけ

本構想は、東京都・千代田区の上位計画を踏まえ、地域の課題や社会経済状況の変化、開発動向を考慮しつつ、日本テレビ通り沿道について目指すべきより具体的な将来像と対応方針をまとめるものである。

3 構想の区域

本構想の対象区域は、市ヶ谷駅周辺から麹町大通りにわたる日本テレビ通りを中心とした沿道の地域とする。

なお、他地域との連携に留意したまちづくりの基本構想とする。



協議会の素案による まちづくりの基本的考え方

- 地域主体によるまちづくり
- 地域住民、就業者、事業者、大学、行政等多様な主体
- 地域の抱える課題、将来像の共有、連携、協働



魅力的なまちづくり



個別開発の誘導＋地域貢献



規制緩和

範囲がどこまでか不明？ 規制緩和の内容が不明？
沿道軸のにぎわいが強調されている。

「住宅を中心にしたまち」のニュアンスが欠如してる。(大澤先生の指摘)

住民の望むまち「番町」をみんなで作ろう

千代田区「都市マスタープラン」の改定

→千代田区都市計画審議会で審議中

「番町」はどんなまち？→現在の「都市マスタープラン」→現在の「地区計画」

中層・中高層の住居系の複合市街地として、
番町の落ち着いたたたずまいを活かし、
住宅を中心として教育施設、商業・業務施設が調和・共存したまちをつくる。

また、空間的ゆとりがあり、緑に包まれた心やすらぐ住環境、美しい街並みを維持・創出。

「地域住民の意見」を区議会と都市計画審議会へ

「番町」都市マスタープランに関する陳情書名の提出

2019年6月27日 千代田区議会 企画総務委員会で審議→継続審議

2019年7月9日 千代田区都市計画審議会(有識者+公募住民+区議会議員)で、報告

2019年7月25日 千代田区議会 企画総務委員会 第2回審議→継続審議

2019年8月26日 千代田区議会 企画総務委員会 第3回審議→継続審議 **651筆**

2019年10月18日 千代田区議会 企画総務委員会で審議

2019年11月21,22,23日 大丸有(大手町、丸の内、有楽町地区、番町、富士見、麴町地区、
神田地区で公述会開催
応募者の中から6人発言(守る会より4名公述)

【千代田区都市計画マスタープラン改定「中間のまとめ」(案)に対する意見
募集、11月26日(火)まで】

千代田区都市マスタープラン改訂スケジュール

2019年10月28日都市計画審議会資料

千代田区都市計画マスタープラン改定スケジュール

参考資料 3

